

2016.12.15

ALS 支援から社会を豊かにする IoT プロジェクト「FOLLOW YOUR VISION」本格始動 “眼”の動きでデバイス操作を可能とするアプリケーション開発プラットフォーム 『JINS MEME BRIDGE Platform』を2月上旬より公開予定

株式会社ジェイアイエヌ（東京本社：東京都千代田区、代表取締役社長：田中仁、以下 JINS）は、2016 年 6 月より技術的アドバイスを行っている ALS 支援ソリューション開発プロジェクト「FOLLOW YOUR VISION」において、JINS MEME（ジンス・ミーム）の瞬き・視線移動データにより電子デバイスの操作を可能とする Android アプリケーション「JINS MEME BRIDGE（ブリッジ *仮称）」を 2017 年 2 月上旬より公開予定です。本アプリは、Google Play から無料ダウンロードすることができます。そして、JINS MEME BRIDGE を通してオープンイノベーション型の開発スキームを採用し「JINS MEME BRIDGE Platform」としてアプリのソースコードの公開を目指します。



JINS MEME BRIDGE は、JINS MEME の眼電位技術を通じて取得される瞬きや視線移動の情報を、入力コマンドとして変換することを可能とするアプリケーションです。API を通じてパソコンや照明といった電子デバイスと連動させることで、眼の動きによる操作を可能とします。また、JINS MEME BRIDGE では、オープンイノベーション型の開発スキームを採用し「JINS MEME BRIDGE Platform」としてアプリのソースコードを公開。本プロジェクトに共感する世界中のデベロッパーのフィードバックを引き出し、アプリ機能の改善・拡大へとつながる開発サイクルを確立することで、柔軟性に富んだ ALS 支援ソリューションの発展を目指します。

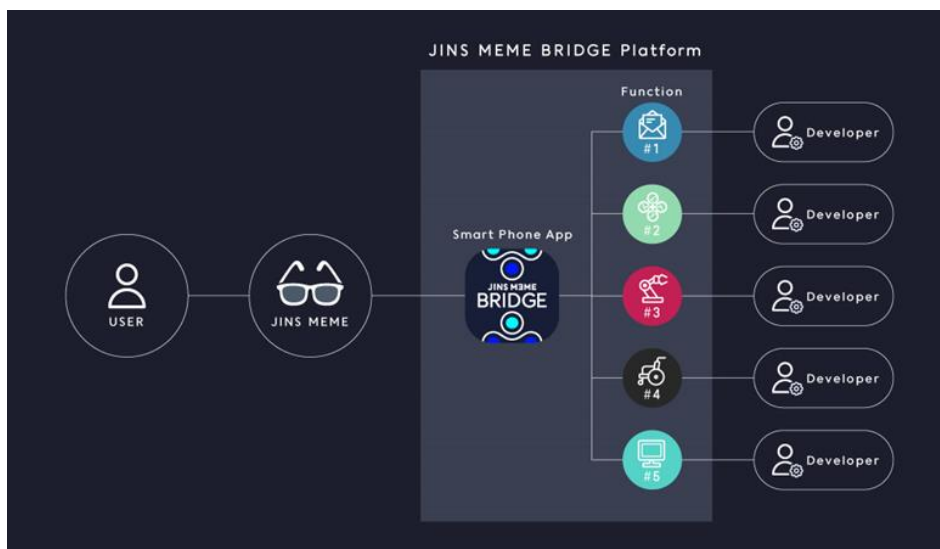
眼の動きによるコントロール技術は、ALS 患者やハンディキャップを持つ人々のみならず、高齢者を含めた一般の人すべての利便性を高める可能性を秘めています。そのため「FOLLOW YOUR VISION」では、本アプリを様々な生活シーンへと拡げ、社会に対する導入スピードを最大化させるためハッカソンを全国で開催。2017 年 2 月 4 日（土）の JINS MEME Flagship Store 原宿での開催を皮切りに、東京・大阪・福岡の 3 都市において展開します。ハッカソンを通じてデベロッパーの優れたアイデアを引き出し、実装へと導くことで、社会をより豊かにする IoT ソリューションの創出をサポートするほか、ハッカソンより輩出された優れた作品を、2017 年 3 月にテキサス州・オースティンにて開催される世界最大のマルチ・メディアイベント「SXSW（サウス・バイ・サウスウェスト）」に出展。現地に集まる世界各国の優れた開発者から生のフィードバックを受けることで、グローバルに通用する日本発の IoT ソリューションの創出にも挑戦します。

アプリケーション概要

- 【アプリケーション名】 JINS MEME BRIDGE（仮称）
- 【公開日】 2017 年 2 月上旬予定
- 【対応デバイス】 JINS MEME ES
- 【通信方式】 Bluetooth Low Energy
- 【対応スマートフォン】 Android 6.0 以上
- 【入手方法】 Google Play にて無料ダウンロード
- 【ソースコード】 <https://github.com/jins-meme>

『JINS MEME BRIDGE』詳細

「目の動きだけで身の回りのデバイスを自由にコントロールする」というコンセプトの根幹を担う存在として開発がスタートしました。約8か月におよぶアプリ開発には、プロジェクト発起人でありALS患者でもある一般社団法人WITH ALS代表 武藤 将胤（むとうまさたね）さんのディレクションのもと、株式会社博報堂、山本製作所、インビジブルデザインラボなどから多数のエンジニアやデザイナーが集結。センシング・アイウェア JINS MEME の眼電位技術を通じてリアルタイムに取得される視線移動や瞬きの情報を、独自のアルゴリズムを通じてコマンドとして変換することを可能としました。さらに、カメラ撮影、メール送受信、ミュージックプレーヤー再生などの機能が実装されることで、ALS患者のみならず、高齢者や生活の利便化を望む全ての人々のニーズに対して対応可能なIoTプラットフォームを目指しデザインされています。



ハッカソンイベントについて

JINS MEME BRIDGE を用いたハッカソンを東京・大阪・福岡の3都市にて開催いたします。ハッカソンでは、WITH ALS 武藤さんを交えた趣旨説明やアイデアプレストを皮切りに、2日間の工程を経てアプリ実装を目指します。ハッカソンの優秀作品には、2017年3月にテキサス州・オースティンで開催される「SXSW」における展示を予定しています。

【ハッカソン開催予定】

東京会場	JINS MEME Flagship Store 原宿	2月4日（土）
大阪会場	大阪イノベーションハブ	2月中実施予定
福岡会場	スタートアップカフェ福岡	2月中実施予定

FOLLOW YOUR VISION について

ALS患者が発症後も正常に機能を保つことができるといわれる「眼球」の動きに着目し、センシング・デバイス JINS MEME を活用し目の動きにより様々な電子デバイスのコントロールを目指したALS支援ソリューション開発プロジェクトです。WITH ALS 主催により2016年6月からスタートした本プロジェクトを JINS は技術支援的な側面からサポートを続けてまいりました。従来型のALS支援ソリューションに比べて、どこでも気軽に長時間装着が可能な JINS MEME は技術・ハード面での制約が少なく、同分野における大きな発展可能性を秘めています。ここにオープンイノベーション型の開発スキームを組み込むことでALSなどハンディキャップに悩む方々はもとより、広く社会に浸透するIoTソリューション創出を目指して行きます。

一般社団法人 WITH ALS について

ALS (Amyotrophic lateral sclerosis: 筋萎縮性側索硬化症) 患者の置かれた現状を、自身の体験を通じて世界中に周知し、認知・理解を拡大させることで、治療方法や支援制度を向上させることを目的とした非営利団体。ALS やその他難病患者、その家族、非患者のQOL (Quality of Life) の向上に貢献するコンテンツ開発・支援活動を実施しています。

▼一般社団法人 WITH ALS 代表 武藤 将胤（むとうまさたね）さん
一般社団法人 WITH ALS 代表理事。1986年、LA生まれ。東京育ち。
ALS患者。コミュニケーションデザイナー。EYE VDJ。



JINS MEME について

JINS MEME は、3 点式眼電位センサー（特許取得済み）と 6 軸センサー（加速度・ジャイロセンサー）を搭載し“自分を見るアイウェア”をコンセプトにした世界初のセンシング・アイウェアです。JINS MEME で取得されたデータは、Bluetooth と連携したスマートフォンのオフィシャルアプリケーション上で可視化され、ココロとカラダの情報としてリアルタイムで装着者に届けられます。

JINS MEME ES



「JINS MEME ES」

(¥39,000 (+税))

ウエリントンフレームに 3 点式眼電位センサーと 6 軸センサーを搭載。

【対応アプリケーション】



※3 点式眼電位センシング技術について

人間の眼球は角膜側に正の電位を帯びています。この正の電位を持つ眼球の角膜側が、視線や瞬きの際に動くことで、周辺の皮膚の電位に変化が生じます。これを JINS MEME の眉間と鼻パッドに搭載された 3 点式眼電位センサーが計測し、瞬きや視線移動を検出することができます。

JINS MEME MT



「JINS MEME MT」

(¥19,000 (+税))

スポーツシーンでの使用に特化し、激しい運動でもフィットするスポーツサングラスフレームに 6 軸センサーのみを搭載。

【対応アプリケーション】

